

Japanese B – Higher level – Paper 1
Japonais B – Niveau supérieur – Épreuve 1
Japonés B – Nivel superior – Prueba 1

Friday 8 May 2015 (afternoon)
Vendredi 8 mai 2015 (après-midi)
Viernes 8 de mayo de 2015 (tarde)

1 h 30 m

Text booklet – Instructions to candidates

- Do not open this booklet until instructed to do so.
- This booklet contains all of the texts required for paper 1.
- Answer the questions in the question and answer booklet provided.

Livret de textes – Instructions destinées aux candidats

- N'ouvrez pas ce livret avant d'y être autorisé(e).
- Ce livret contient tous les textes nécessaires à l'épreuve 1.
- Répondez à toutes les questions dans le livret de questions et réponses fourni.

Cuaderno de textos – Instrucciones para los alumnos

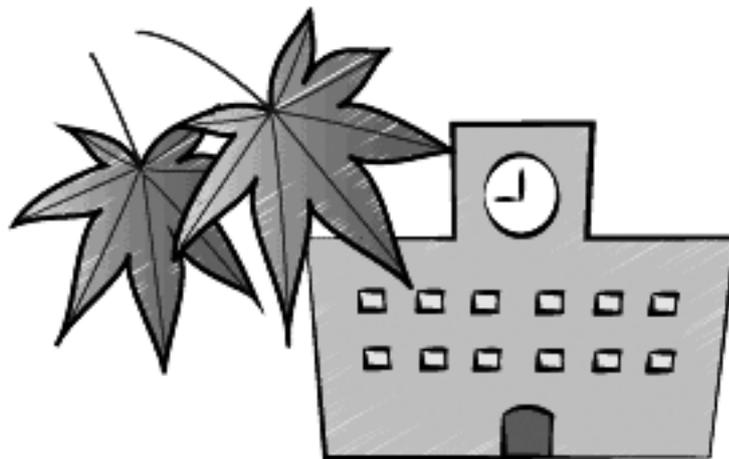
- No abra este cuaderno hasta que se lo autoricen.
- Este cuaderno contiene todos los textos para la prueba 1.
- Conteste todas las preguntas en el cuaderno de preguntas y respuestas.

Blank page
Page vierge
Página en blanco

問題 A

大学入学が秋になったら…

- ① 入学式といえば、さくらが さく春の風景を思いうかべるでしょう。でも、東京大学は今、入学式を秋にしようかと考えています。それには、どんな目的があるのでしょうか。
- ② 大学の入学は、今までは基本的に4月と決まっていた。しかし、2008年度からは大学の判断で決められるようになりました。留学生などのために、秋に入学できる大学もありますが、学生全員の入学を秋にしようと考えているのは、東京大学が初めてで、注目を集めています。
- ③ 入学時期を秋にすると、どんな利点があるのでしょうか。一番のねらいは、留学の行き来をしやすくして、色々な国からの学生を引きつけることでしょう。日本のように四月に大学が始まるのは、世界では、珍しいです。始業の時期が違くと、日本から海外へ、海外から日本への留学が しにくくなります。1998年に秋入学を始めた早稲田大学では、海外から来る留学生は毎年増え続けていて、今年は4000人以上います。
- ④ 一方で、日本の学生は海外へ行こうという意識が低くなってきています。しかし、近い将来、そうも言っていられない日が来るでしょう。日本は、若い人が少なくなり、お年寄りが増える高齢化が進んでいます。働く人口が減っていくと、物を売ったり買ったりする人も少なくなり、海外に仕事の間を見つける必要性も高まります。
- ⑤ 秋入学には、課題もあります。もし秋入学が実現したら、3月の高校卒業後、大学に入るまで約半年の期間が空いてしまいます。他の国では、この期間を「ギャップイヤー」といって、学生は海外に留学したり、ボランティアをしたりしています。
- ⑥ 9月入学が広まれば、学生の生活は色々と変わるでしょう。



参考：2011年11月19日づけ 朝日小学生新聞

問題 B

においで もっと楽しく

- ① レストランで「何を食べようかな」というときは、メニューの写真や食品サンプルを目で見て選びますね。もし目だけでなく、鼻も使って選べたら？ 外食がもっと楽しくなるかもしれません。画面の食べ物の画像に近づいた人だけに、においを感じさせる そうちの開発が大学で進んでいます。
- ② そうちの名前は「嗅覚ディスプレイ」といいます。東京農工大学の石田教授の研究室で3, 4人が共同開発しています。画面の左上にももの絵が映し出されました。見学していた本多君が画面の右下から ももの絵のほうへ顔を近づけていくと、もものにおいの強さが変わっていきました。
- ③ 「どんな仕組みになっていると思う？」と石田教授が聞きました。本多君が見つけたのは、画面の手前にある そうちとつながっていて、無色の液体が入っているびんです。無色の液体は ももの香料で、もものにおいを作っているのです。
- ④ この そうちは将来レストランや喫茶店で使われるかもしれません。また、科学博物館などでも、説明の画面に そうちをつけ、画面をタッチした人に そのにおいを感じさせたら おもしろいでしょう。
- ⑤ ある そうちにはヒーターも ついています。画面には温かそうなチョコレートドリンクが出ています。カップの絵に近づくと、あまいにおいと温かさを感じます。石田教授は、「料理だと、においと いっしょに温度も想像しますよね。だから、温度もあると、より自然に感じられるのです。」と話していました。
- ⑥ 石田教授の将来のゆめは、犬と同じぐらい、においが分かるロボットを作ることです。犬は人間より たくさんのにおいをかぎわけ、わずかなにおいも感じることができます。今、犬は警察犬や災害救助犬などとして人の役に立っていますが、ロボットができれば危ない所にも行けて、さらに大きな助けになるでしょう。



「嗅覚ディスプレイ」という そうち

問題 C

アベノミクスで円安と株高進む

生徒が経済の先生に質問しています。

Q: 今年もニュースはたくさんあったけど、経済の話題が多かったのは、どうして？

A: 「アベノミクス」が流行語になってきたから。景気に明るさは見えてきたけれど、物価が上がって、私達の生活は苦しくなってきたね。

5 Q: [-例-]

A: 2012年まで首相だった安倍首相の経済学のことよ。名前の「安倍」と、英語の「経済」の意味の「エコノミクス」をつなげて、「アベノミクス」になったの。

Q: [-26-]

10 A: 安倍首相は日本銀行やその他の銀行を通して、お金を世の中にばらまいたんだよ。お金が大量に出回ったので、日本円の価値が下がって円安になったの。2013年12月には5年ぶりに1ドル105円となったんだよ。

Q: [-27-]

15 A: 1ドル85円だったよ。円安のとき、日本の製品を輸出する会社は、去年1ドルで売って85円もらっていた同じ物でも、今年は105円もらえるので、お金がもうかるの。

Q: [-28-]

A: 会社がもうかっているから、株も高くなってきたね。

Q: 株が高くなると、景気が良くなった気分になるよね。

A: そうね。それで、高いうで時計や高級車が売れているの。

20 Q: 普通の人の生活はどうして良くなっていないの？

A: 給料が上がっていないから。今は物価だけが上がって、生活が苦しい人が増えているのよ。

参考：2013年12月28日づけ 朝日小学生新聞

西日の当たる台所で、おみそしるの湯気が立ちこめる中、冷たい おとうふを てのひらに のせていると、息子の こえが よみがえってくる。ママ、お手てが切れちゃうよ。その言葉が心の中にひびきわたる。自分には心の そこから じゅんすいに泣いてくれる人がある。そんな思いに ひとつ、しあわせをかみしめる。泣いてくれた本人はすっかり大人になり、そんな事など少しも覚えてはいないのだけだ。

(小川洋子「カラーひよことコーヒーまめ」二〇一二年)

思い出のリサイクル

近所に一人、世話好きで正義感の強いおばさんがいた。彼女は正しく分別されていないゴミ、曜日がまもられていないゴミを発見すると、ただちに、それを出した人の所へ おもむき（町内ではゴミぶくろに名前を書くことが義務づけられていた）、お説教をした。私など道でその人とすれ違うだけで、むねがドキドキした。

5 彼女の行為は非のうち所がないほどに正しかった。同じ町内の者として、ほこりに思わなければならない人だった。しかし、頭では、ちゃんと、そう理解していたのだが、むねの、どこかに何とも言えない複雑な思いが引つかかっていた。朝早く、他人の出したゴミぶくろを、ごそごそ、かき回している彼女のすがたを見ると、ふっと心が寒くなるような気持ちになるのだった。

10 私が子どものころは、何でも物を大事に使うこと、できるだけ無駄なゴミは出さないことは当たり前前の生活態度だった。洋服が、やぶれたら、ぬい、自転車、さびたら、ペンキをぬり、電化製品が、こわれたら修理屋さんに来てもらう。ビールびんは酒屋さんに返し、おとうふ屋さんには、なべを持ってゆき、家族で出かけるときは水筒にお茶を用意する。ゴミの、すてかたについて講習を受ける必要も、近所のおばさんにゴミぶくろをのぞかれる心配もなかった。やっぱ、どこかで社会の仕組みが、おかしく、なってしまったとしか思えない。

15 さて、私が最も効率よくリサイクルしているのは、思い出である。 〈中略〉
例えば、おみそしるに入れる、おとうふを、てのひらの上で切っているとき、必ず思い出す風景がある。息子がまだ言葉を覚えて間がなかったころ、私が同じように、そうやって、おとうふを切っているのを見た彼は、不意に、さけびごえを上げた。

20 「ママ、お手てが切れちゃうよ。」
そう言って、私の足にだきつき、なみだをポロポロ流したのである。

問題 E

天の弟へ、とどけ こいのぼり

- ① 子どもの健やかな成長を願って高く あげられる「こいのぼり」。東日本大震災の被災地では、なくなった子どもたちが さびしい思いをしないようにと、こいのぼりに特別な思いをこめる人たちも います。神戸の小学生は手作りの こいのぼりを通して、東北をはげましています。
- ② 宮城県の東松島市は、つなみで大きな被害を受けました。流れ着いたタイヤが残っている中、多くの青い こいのぼりが はためいています。青は子どもの こいのぼりの色です。取り組みの きっかけを作った大学生の いたうさんは、「なくなった弟も、こんなに たくさんの こいのぼりに おどろいているでしょう。『今年もこいのぼりをあげたよ。さびしくないから安心してね』と伝えたい。」と話していました。いたうさんは つなみでお母さん、おじいさん、おばあさんと弟をなくしました。「弟は わが家のアイドルのような存在。みんなに かわいがられていました。なくなったことが分かったときは、あまりにも突然で、しばらくは悲しい、つらいという気持ちも感じられませんでした。」と、ふり返ります。
- ③ 震災から2週間ほどして、いたうさんが家の かたづけをしていたときに、こいのぼりを見つけました。こいのぼりを洗って、ぼうに ひもをつけて、こいのぼりを立てました。「こいのぼりは色が あざやかで、いんしょうに残るかざりです。わが家でも一大行事として毎年こいのぼりをあげてきました。震災後も こいのぼりをあげることは大事だと思いました。」と、いたうさんは語ります。
- ④ この話を聞いた人も協力して、青い こいのぼりが全国から約 250 ぴき集められました。そして、今年の5月も こいのぼりを たくさん あげました。このイベントは今年で3度目になり、地元の人を招いて、開いています。いたうさんは、「なくなった子どもたちが さびしくないように、これからも こいのぼりをあげたい。」と、がんばっています。

